

授業科目

病態生理・治療学I

担当教員名 鈴木 健司	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

医療・福祉・保健の分野では、複数の職種がチームを作って取り組んでいる。これを円滑に推進するためにはチームの構成員が病気の原因・本態・特徴および治療を理解していることが不可欠である。病態生理・治療学Iでは、主に医学概論・病理学・病態生理学・内科総論に関し、コメディカルとして必要とされる医学的知識を修得する。また最近医療の現場で注目されてきている東洋医学の概要と特別授業として、「臓器移植」を取り上げる。

授業の目的

内科学を学ぶのは、内科学が医学の基本であり、診療対象者の状態を全体的に把握するために欠かせないからである。心身医学は、心と体が密接に関係しており、ただ身体を診るだけでは不十分であることを理解してもらうためである。東洋医学は、近代医学と異なる視点から見ることの重要性を理解してもらうためである。臓器移植は、先端医療の現状を理解し問題点を考えてもらうためである。

学習目標

1. 医学・医療の目的、医療倫理、予防医学・治療医学の概念、病因・病理・病態生理・治療などの概要を記述する。
2. 主な器官系の構造と機能を記述する。
3. 心身相関および老年病の特徴・治療上の留意点を記述する。
4. 内科疾患と関連する感覚器の異常との関連性を記述する
5. 東洋医学の特徴を記述する
6. 臓器移植の現状を述べる・問題点を指摘する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医学概論 医学とは、医学の内容、医学と医療、健康と病気、正常と異常、医学の目的、医療とQOL、医療実践とEBM、医療と倫理	講義	鈴木 健司
2	病態生理（1）病因、形態的変化と機能的変化、細胞・組織障害とその修復、炎症	講義	鈴木 健司
3	病態生理（2）体液の異常、血行障害、代謝障害、先天異常	講義	鈴木 健司
4	病態生理（3）感染、免疫、腫瘍	講義	鈴木 健司
5	内科学総論 内科学の起源と歴史、内科診断学（医療面接・身体診察）、臨床検査、治療法	講義	鈴木 健司
6	内科学（1）呼吸器系・循環器系器官の構造と機能	講義	鈴木 健司
7	内科学（2）消化器系・代謝系・内分泌系器官の構造と機能	講義	鈴木 健司
8	内科学（3）腎泌尿器・造血器系・神経系器官の構造と機能	講義	鈴木 健司
9	内科学（4）動脈硬化およびその関連疾患・病態1（高血圧、虚血性心疾患）	講義	鈴木 健司
10	内科学（5）動脈硬化およびその関連疾患・病態2（糖尿病・脂質異常・肥満）	講義	鈴木 健司
11	内科学（6）動脈硬化およびその関連疾患・病態3（脳血管障害・慢性腎臓病）	講義	鈴木 健司
12	内科学（7）心身相関（心身医学・心療内科） 内科疾患と感覚器の障害（眼病変を中心に）	講義	鈴木 健司
13	内科学（8）老化とは？ 老年者の疾患の特徴、治療上の留意点	講義	鈴木 健司

14	内科学（9）臓器移植について（仮題）	講義	鈴木 健 司
15	東洋医学（1）東洋医学の歴史，病態把握の方法，診察法，治療の考え方	講義	鈴木 健 司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	楽しく学ぶ！看護につながる解剖整理	小寺豊 他	照林社	2013年	1,944円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

最初の講義の際にお知らせします。